

## 地域課題① 各世代が参加しやすい活動に再構築

### ★具体的取組の例

- 日常的に近隣同士が気軽に会話できる雰囲気や場づくり
- 各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり
- 子ども会や中高生などの若い世代、あるいは高齢者団体等が、それぞれの年代だけでなく幅広い年代を対象とする事業を企画・運営し、交流を広げる
- 住民自治組織の存在意義や役割、活動等を広報紙のほか、ホームページやSNSを併用して発信

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	18	42.9%
取り組まなかった	24	57.1%
無回答	0	0.0%

### 具体的取組とその効果など

- ・子供会や高齢者がいっしょにできる事業を企画した。
- ・防災研修会を開催し、若者から高齢者まで幅広く参加した。健康教室はコロナで開催できなく残念だった。
- ・常会などで問題点など話し合った。
- ・新年祝賀会を今年度は実施できた。男性の参加がほとんどでしたが各年代より参加頂いた。但し、毎年開催している祭典祝賀会や運動会反省会、夏のビアガーデンなどはコロナ禍のため実施できず残念でした。
- ・子ども会事業の中に田植・生き物調査・稲刈りの体験事業を開催。子ども会、町内会、生産組合、老クが参加し交流を深めている。

## 地域課題② 将来を見据えた持続可能な組織づくり

### ★具体的取組の例

- 既存事業の見直し
- 隣組や班などの統合再編など組織の見直しや、役員構成の見直し
- 現役世代が参加できる役員体制と共通認識づくり
- 将来を見据えた会費のあり方の検討

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	17	40.5%
取り組まなかった	25	59.5%
無回答	0	0.0%

### 具体的取組とその効果など

- ・役員体制を令和3年度より見直しをはかった。
- ・班体制の見直し(10→6)、役員体制の見直し
- ・役員会の充実と会計の役員手当アップ
- ・町内会費ランク分けの見直し
- ・公民館が築約50年になるので特別会計に公民館建設積立金を設けた。
- ・班長はじめ部員の廻り番に支障をきたしている班が出てきているので町内会運営委員会にて当面のあり方について検討した。
- ・既存事業の見直し、町内会における組織の見直しや次期役員の検討、将来を見据えた町内会費の検討
- ・将来を見据えた会費制度を4年度より実施予定。少ない家族構成になってきた現在に合った予算のあり方にする様に、少しずつだが変えていくことにした。
- ・若妻会は人員不足で解散し、町内会の全女性を対象(70定年)にした「女性の会」に統一した。

### 地域課題③ 広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し

#### ★具体的取組の例

- 既存事業の見直し
- 広域コミュニティ組織等と連携しての生涯学習事業の実施
- 多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	9	21.4%
取り組まなかった	33	78.6%
無回答	0	0.0%

#### 具体的取組とその効果など

- ・地域活動センター事業への参加・見識が広がった。
- ・地域活動センターと連携して、年齢層やライフスタイルを意識した事業活動を実施
- ・地域活動センターの行事になるべく参加した(さくら回廊の草刈りなど)。

### 地域課題④ 広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり

#### ★具体的取組の例

- 自主防災計画の見直しなど自主防災組織の機能点検の実施
- 定期的な防災訓練の実施
- 緊急時や災害時に備えた住民情報の収集とその適正管理
- 地域における防犯意識を高めるための啓発活動の実施
- 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践
- 空き家情報の把握と市への情報提供

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	21	51.2%
取り組まなかった	20	48.8%
無回答	0	0.0%

#### 具体的取組とその効果など

- ・自主防災会で、安否確認のやり方について確認した。
- ・防災学習会の実施、活動センターと一体となった防災訓練の実施
- ・定期的な防災訓練、交通安全立哨の実施(春・夏・秋)年3回
- ・崩壊しそうな住宅があり市へ情報提供した。自主防災を定期的に行い安否確認を行っている。PTAが夏休み前に危険個所を子供たちとみてまわり注意する。
- ・空き家情報の把握と市への情報提供
- ・町内会役員で防火水槽の保守点検、水源確保するための堰止め機材の作成
- ・令和4年3月の地震発生時、高齢独居者の安否確認を行った。
- ・地域 PTCA で出た児童通学路における庭木のはみだし等について町内会連絡協議会の中の町内会長会にて対応した。自治振興会と消防団主催の防災訓練は、コロナ禍のため実施できなかった。
- ・自主防災組織の見直し、緊急時や災害時に備えた、住民確認表と被害状況表の作成、空き家の状況把握と市への情報提供

## 地域課題⑤ 地域福祉を近隣の輪で支える体制を再構築

### ★具体的取組の例

- 高齢者単独世帯への声掛けなど、普段からのコミュニケーション構築
- 高齢者の方々の知見と経験をいかす地域福祉活動
- 有償ボランティアの検討など、持続可能な地域福祉の構築
- 単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催
- 課題や将来像を共有する場づくり

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	12	28.6%
取り組まなかった	30	71.4%
無回答	0	0.0%

### 具体的取組とその効果など

- ・高齢者単独世帯への声掛けなど、普段からのコミュニケーションを構築した。
- ・住民マップを作成し、非常時での体制や声かけ避難等における準備をしている。
- ・老人クラブが中心になり色々な行事を企画しコミュニケーションを図っている。専門の方に来てもらい健康長寿をめざし皆で研修をしている。
- ・高齢者世帯への除雪ボランティアの実施

## 地域課題⑥ 「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり

### ★具体的取組の例

- 子どものころから地域活動に関わることができるように、開催日や運営形態等の工夫
- 伝統行事や伝統芸能への理解促進と継承活動の支援

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	13	31.0%
取り組まなかった	29	69.0%
無回答	0	0.0%

### 具体的取組とその効果など

- ・子供達も参加の集会場周辺及び芝公園と町内全域の草取り(年3回)、日常生活において経験のできない臼による餅つき及びあんこ入りの丸餅作り(年1回)
- ・獅子舞があり子供の頃より参加し一緒に大切な伝統芸能へ継承している。
- ・自治会と子供会による環境整備活動を行なった。(山林の美化活動)
- ・子供会、自治会役員参加で四阿(あずまや)周辺の桜整備
- ・伝統行事や伝統芸能への理解促進と継承活動を支援した。
- ・地域の環境整備に農地水の部会と連動し、取り組み住民の交流と環境づくりと推進した。
- ・長沼活性化委員会とぽっぽの湯運営協議会が合同でぽっぽの湯の環境整備、美化活動に取り組んだ。
- ・子供の頃から地域活動に関わることができるように、理解と継承活動の支援(子供獅子・子供神輿)
- ・子供の頃から地域活動に参加できるよう事業の進め方を見直した。

## その他／ 地域で課題になっていることなど

- ・会員の高齢化が進み、高齢者の1人世帯、夫婦のみの世帯が増加している。また年々空き家件数が増加している。会員数の減少。
- ・町内会や地域の行事に参加する人が固定化し、何にも参加しない人が増えている。
- ・空家問題
- ・コロナウィルス感染症のため活動がしにくい。
- ・集落の構成員が高齢化しており、またコロナ禍で制限がかかる中、住民の意識改革も含め、取り組みが難しい。
- ・地域においても町内会内においてもコロナの影響で活動が極端に制限され、思った活動が出来なかった。
- ・町内会役員（会長、会長代理、会計）のなり手がいなくなっている。他の役職でも。空き家（空豚舎）問題
- ・空き家の樹木処理、獅子踊り後継者
- ・年代層でギャップが有るため、性別・年齢を越えた事業をよく意見を聞きながら取り組んで行く予定。
- ・1人世帯の増加、高齢世帯の増加
- ・最近になって、空き家が増えていく傾向にあります。劣化による壁や瓦の落下、樹木が隣家で邪魔になっているという問題が発生している。
- ・どこも共通だが、若人がいなく高齢化が進み、人口減をどうするか。

## その他／ 具体的に考えている事業や取組んでみたい事業など

- ・町内会の世帯が多く参加できる祭など企画できたらと考えている。
- ・以前は見かけない植樹柵への防草シート張り 1カ所でも多く草花を植え、きれいで住みやすいまちづくりをしたい。令和3年度においては、7カ所の植樹柵に紅白の芝桜植え、又緑化事業交付金受け、花壇の整備(芝桜)を実施。今後も継続して取り組んでいきたい。
- ・子供会の資源回収に、町内会住民も参加する。
- ・町内会自主防災計画の作成、鶴岡市避難行動要支援者個別計画への取り組み
- ・地域と連携した、高齢者福祉事業の構築

**地域課題① 地区自治振興会を核とした活動の推進**

## ★具体的取組の例

- 広域コミュニティ組織の維持と活動内容のPR
- 各種団体・組織の統合・再編の検討
- 地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施
- 住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定
- 各種団体組織（広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体）による情報交換会の開催、連携に向けた検討
- アドバイザー職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取組支援

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	5	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・広域コミュニティ組織の活動内容のPR
- ・住民の声を反映した「地域ビジョン」の推進
- ・各種団体組織による情報交換会の開催、連携に向けた検討
- ・アドバイザー職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取組支援
- ・地域ビジョン作成の為に住民意向調査アンケートの実施（対象 小、中、高校生、一般）
- ・全戸配布のセンターだよりで、活動内容を定期的に周知
- ・町内会公民館連絡協議会、青少年育成協議会を廃止、スリム化、効率化を図る。
- ・地区内民生児童委員との懇談会を定例化し、情報交換
- ・ぼっぼの湯の運営が第3セクターから地元組織の運営協議会に移行するに当たり、積極的に関わりその一翼を担った。
- ・防災士を招いての防災研修会、庁舎担当者を講師にした地域ビジョン策定説明会等を開催し、地区住民や各町内会役員等の意識啓発に取り組んだ。

**地域課題② 持続可能な運営方法の確立**

## ★具体的取組の例

- 会費のあり方の検討
- 住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し
- 地域資源を活かしたコミュニティビジネスの導入
- 住民自治組織の存在意義や役割、活動等を広報紙のほか、ホームページやSNSを併用して発信

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	5	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・住民合意に基づく活動内容の見直し
- ・住民自治組織の存在意義や役割、活動等を広報紙で発信
- ・月一回広報誌の発行

- ・町内会役員との会議を設定し、会費等の見直しを毎年行う。
- ・実施の事業については実行委員会を設け、内容の検討を行っている。
- ・長沼地区の各種負担金の見直しを図り、軽減に取り組んだ。
- ・町内会連絡協議会、青少年育成協議会、生涯学習推進委員等との連携を密にし、諸事業の実施方法等について、都度協議し、改善を図っている。

### 地域課題③ 地区内外の団体との連携強化

★具体的取組の例

- 各種団体組織（広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体）による意見交換会の開催、連携に向けた検討
- 人材育成のための研修機会の充実（単位自治組織若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会等）
- 町内会長連絡協議会等地域全域で構成される組織と広域コミュニティ組織との連絡調整会議の開催

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	5	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・各種団体組織による意見交換会の開催、連携に向けた検討
- ・人材育成のための研修機会の充実（単位自治組織役員を対象とした研修会等）
- ・「東栄地域を語る会」を開催し、町内会と自治振興会（広域コミュ組織）の連携に努めた。
- ・町内会役員、民生児童委員との定期的な会議を設け、連携強化を図っている。
- ・研修機会を設定し、特に防災意識の高揚を図っている。
- ・振興会理事会、町内会長会、町内会役員会等で連絡調整を密に実施。
- ・藤島地域の他地区自治振興会と情報交換の場を設け、効率的、効果的運営に努めた。
- ・関係団体等との連携を強化しながらも、諸事業に女性や若者の声が反映できるよう、参加枠を設けたりして協力を依頼している。

### 地域課題④ 福祉と防災で新たな役割を確立

★具体的取組の例

- 単位自治組織と広域コミュニティ組織、市による機能・役割分担の確立
- 単位自治組織と情報を共有する体制づくり
- 学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践
- 関係団体等との協働による防災訓練の実施
- 高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手段として、コミュニティビジネスの取組に向けた検討
- 中学生・高校生の防災意識の高揚（応急処置講習会、防災訓練への参画）
- 災害に即応し、自助共助が発揮できるまちづくりの推進
- 地域共生社会の実現に向けた「地域支え合いプラン」の推進

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	5	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・単位自治組織と広域コミュニティ組織、市による機能・役割分担の確立
- ・単位自治組織と情報を共有する体制づくり
- ・関係団体等との協働による防災訓練の実施
- ・災害に即応し、自助共助が発揮できるまちづくりの推進
- ・東栄地区防災情報誌の作成
- ・見守り隊に協力
- ・市の災害時地区指定職員と災害における動向について共通理解している。
- ・特に町内会長と緊密に連携しあい、協力体制の確立に努めている。
- ・公共交通空白地域の解消の為、八栄島地区自治振興会と共にデマンド交通運営協議会の設立に取組み、実証運行にこぎつけた。
- ・自治振興会職員の災害時の初動体制を各町内会に示したり、地区総合防災訓練に各町内会長から参加してもらったり、防災研修会を実施したりして、各町内会の自主防災体制が機能化するよう働きかけている。また、旧児童館を高齢者や子育て世代等の居場所として活用できるよう、青少年育成協議会役員等の協力を得ながら第一段階として外回り周辺の整備に取り組んだ。

**地域課題⑤ 「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり**

## ★具体的取組の例

- 子どもたちの郷土愛を育む地域教育活動の実践
- この地域でなければ経験できない伝統芸能、食生活、スポーツなどに、子どもたちから触れ合う事業を実施
- 地域と学校の連携・協働によるコミュニティスクールの導入と地域学校協働活動の推進

選択肢	回答数	割合
取り組んだ	5	100%
取り組まなかった	0	0%
無回答	0	0%

具体的取組とその効果など

- ・子どもたちの郷土愛を育む地域教育活動の実践
- ・この地域でなければ経験できない農業体験、食生活などに、子どもたちから触れ合う事業を実施
- ・東栄小学校と協力し伝統芸能である獅子踊りの指導を行った。
- ・学社連携事業でアソベンチャークラブを開催し、推進員や地域住民の協力を頂き、わら文化を次世代に伝承するべく、勉強会等を行い世代間交流を深めた。
- ・小学生を対象にした事業を年6回、保護者や地域の各団体の協力を得て実施、多世代との交流も企画、実施
- ・自主運営の放課後子ども教室を毎月開催し、地元の支援員の協力を頂きながら、郷土の偉人について学んだり、昔遊びやコマ作り、押し花などを行い、世代間交流も深めた。
- ・ドリームランドで様々な体験機会を提供したり、小学生に夏休みの宿題に取り組む場を提供したり、中学生からボランティアとして地域に関わってもらえる場を提供したりしている。

### その他／ 地域で課題になっていることなど

- ・ 少子高齢化におけるコミュニティのあり方。
- ・ ウイズコロナによるイベントと行事のあり方。
- ・ 少子化の中、スポ少の選択肢が広がっている為、地元で従来から応援に力を入れている剣道への入団者が少ない。
- ・ 少子化、高齢化等により、運動会をはじめ町内会対抗で実施してきた事業等の内容や実施方法等を検討する段階に来ている。
- ・ 築 70 年近くにもなる老朽化した体育館が避難所となっている。現体育館と同規模以上の、避難所対応ができる交流施設の、早急な建設計画が強く望まれる。

### その他／ 具体的に考えている事業や取組んでみたい事業など

- ・ 防災情報誌の作成
- ・ 地域ビジョンの作成
- ・ 長沼地区全体の防災組織の構築
- ・ プロジェクトチームを立ち上げ、住民アンケートを実施し、地域ビジョンの策定を進めている。より良いビジョン策定に向けてファシリテーター等の協力者がいてくれたらと思う。
- ・ 旧渡前児童館の再生活用に向けて、内部使用に至るには電気設備や大人用のトイレ設備等の改修、外回りにも大型遊具の設置等多額の経費を必要とする。宝くじ助成等を活用し整備できればと考えている。

### その他／ 地域コミュニティに関するご意見など

- ・ 地区民が参画して使用する市の施設を使用するのに、使用料が発生する。これでは、活動を縮小ということになりかねない。